

生体分子間相互作用測定の新機軸・BLI法を採用した Pall ForteBio社 Octet systemのご紹介

～低分子・タンパク質・ウイルス粒子などの測定事例を交えて～

2017.3.2(木) 17:00-18:00

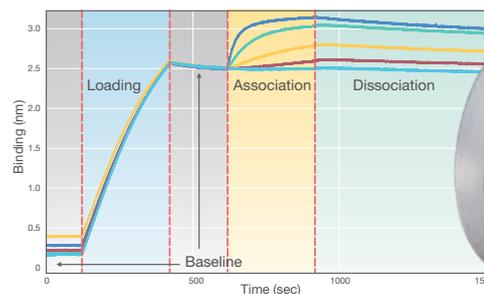
場所：健康医科学イノベーション棟 8階講堂

演者：瀬口 武史（プライムテック株式会社 研究支援部）

Pall ForteBio社製 Octetシステムは、従来のSPR法とは異なる、全く新しいバイオセンサー技術(BLI法)を採用しています。マイクロプレート内のサンプルにバイオセンサーを直接浸すという、極めてシンプルな計測法によって、従来法と比較して短時間で、安定した結果が得られます。本システムの特徴と、従来のSPR法を採用したシステムとの比較を含め、具体的なアプリケーション事例を通して、分子間相互作用解析の最新の情報をお届けします。

Fast. Accurate. EASY.

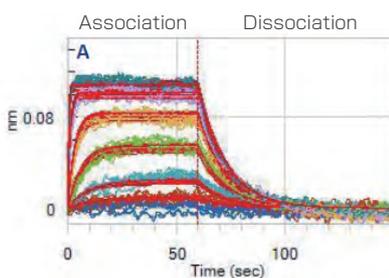
タンパク質・核酸・糖鎖等の
カインेटクス解析・定量・
検出が迅速に完了!



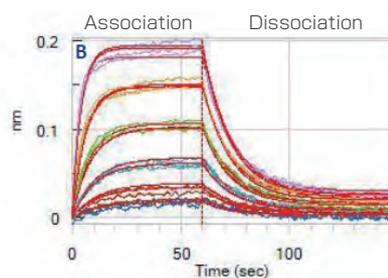
Octet RED96 システム



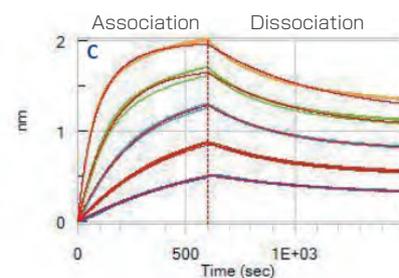
低分子・ペプチド・タンパク質分子間の結合・解離測定 (カインेटクス解析)



低分子測定：フルセミド (330 Da)
(固相化分子：2型炭酸脱水素酵素)



ペプチド測定：インスリン (5k Da)
(固相化分子：抗インスリン抗体)



タンパク質測定：ウサギFab (20K Da)
(固相化分子：抗ウサギFab抗体)

Octet RED96は低分子からタンパク質や大きい粒子まで幅広い範囲の生体分子をアナライトとすることが可能です。上図ではStreptavidin系センサーにタンパク質や各種抗体を固相化した後(図では省略)、各種大きさの分子(330Da, 5kDa, 20kDa)との結合 (Association) と解離 (Dissociation) をリアルタイムで測定し、カーブフィット (赤線) によって解析しています。

お問い合わせ：プライムテック株式会社 青柳 浩史 【TEL】 03-3816-0851 【e-mail】 haoyagi@primetech.co.jp

学 内：三輪 佳宏 (内線8392) 【e-mail】 ymiwa@md.tsukuba.ac.jp

主 催：筑波分子医学協会 (TSMM) <http://www.md.tsukuba.ac.jp/tsmm/>

協会代表：金保 安則